

自公連立解消！新時代の幕開けか政界再編の嵐か

山本左近の活動はこちら



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram

自民党と公明党の連立が、26年の時を経て、ついに終焉を迎えました。長年にわたって政権を支えてきた「与党コンビ」の解消は、政界全体を大きく揺るがせています。

《公明党離脱の背景》

公明党が連立離脱を決めた背景には、特に「政治とカネ」の問題を巡る自民党との意見対立が大きかったと報道されています。具体的には、公明側が企業・団体献金の受け皿を制限する規制強化を求めたところ、自民党がこれに難色を示し、十分な説明や対応を示さなかったことがありとされています。

《自民党への影響》

公明党の離脱により、自民党は単独で、衆議院で196議席、参議院で100議席となり、さらに政権運営が厳しい状況に直面します。

さらに、これまで「公明票」に支えられてきた都市部、特に東京・神奈川などでは苦戦が予想され、無党派層の動向が勝敗を左右します。

一方で、保守層からは「筋を通した」「本来の自民党に戻っ

た」との評価もありますので、高市新体制が「自立した政権運営」を掲げる可能性もあります。

《高市総理誕生の行方》

総裁選で圧倒的な求心力を見せた高市総裁。公明党の離脱を受けても、党内では「初の女性総理を誕生させ、強い国家をつくるべき」との声もあります。経済成長及び外交・安全保障を重視する高市路線は、米国の関係を軸に、対中抑止を強化する方向に舵を切るとみられます。

ただし、物価高や賃上げなど、国民生活に直結する課題への対応を誤れば、世論の風向きは一気に変わるリスクもあります。

《野党一本化の動きと「玉木総理」誕生の可能性》

野党陣営では、立憲民主・国民民主・維新などが「反自民連合」構想を急速に進めています。中でも注目されるのは、国民民主党の玉木雄一郎代表。中道路線を掲げ、与野党双方に理解のある玉木氏を「一本化候補」として推す動きが強まっています。

もしも野党連立が実現すれば、

「玉木総理」誕生というシナリオも現実味を帯びてきます。政権交代の力を握るのは、保守中道層と若年層の票、そして公明党。どちらが「信頼できる改革」を示せるかが勝負の分かれ目です。

《さいごに》

この連立解消は、単なる政局ではなく、**日本政治の構造的な転換点**です。また、連立解消のきっかけの1つとなった**政治とカネの問題**については、国民の皆さまの声に真摯に向き合い、きちんと説明責任を果たすこと、そして、更なる対策を検討することが必要です。

混沌の中にこそ、新しい政治の芽が生まれます。

今、政治には私たち市民の感覚が求められています。

いよいよ「**政治の大転換期**」を迎えました。次のリーダーが誰になるのか。日本の未来の方向を決める選択。そして、この選択は、豊橋・田原の未来にも影響を与えるものです。地域から国へ声をつなげていきましょう。

前衆議院議員

山本左近

不屈の
三河武士

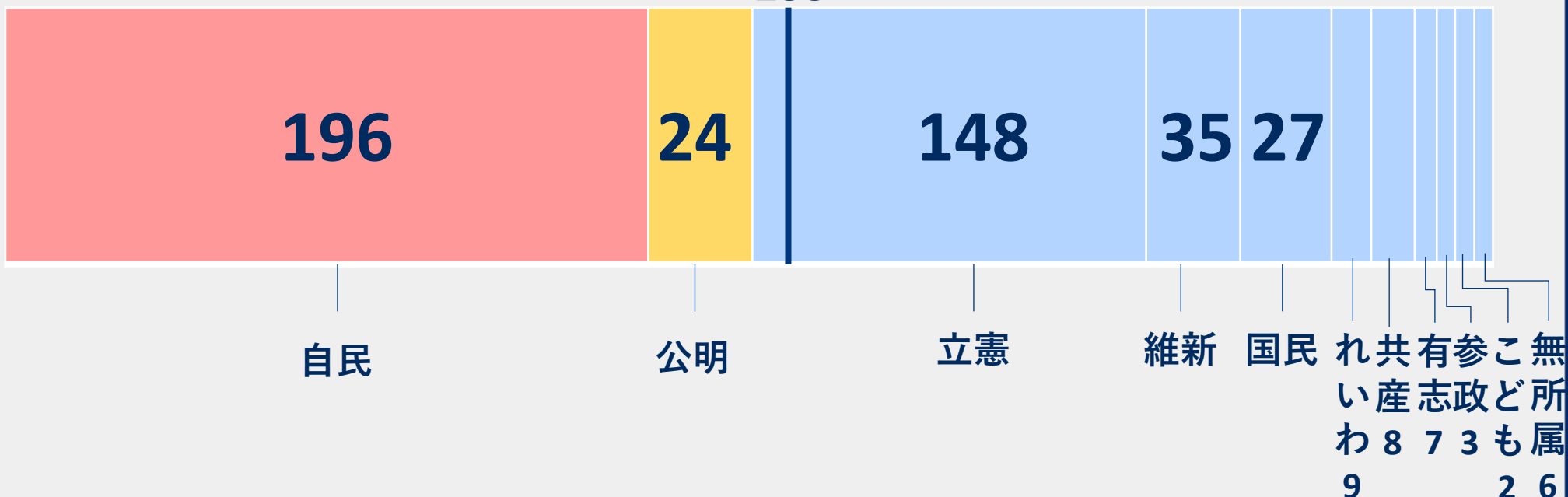
《やまもと・さこん》

愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。43歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧。24歳、当時日本人最年少F1ドライバーデビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙に自民党比例代表で2期目に立候補するも落選し現在に至る。英語、スペイン語を話すマルチリンガル。

自公連立解消後の会派別勢力

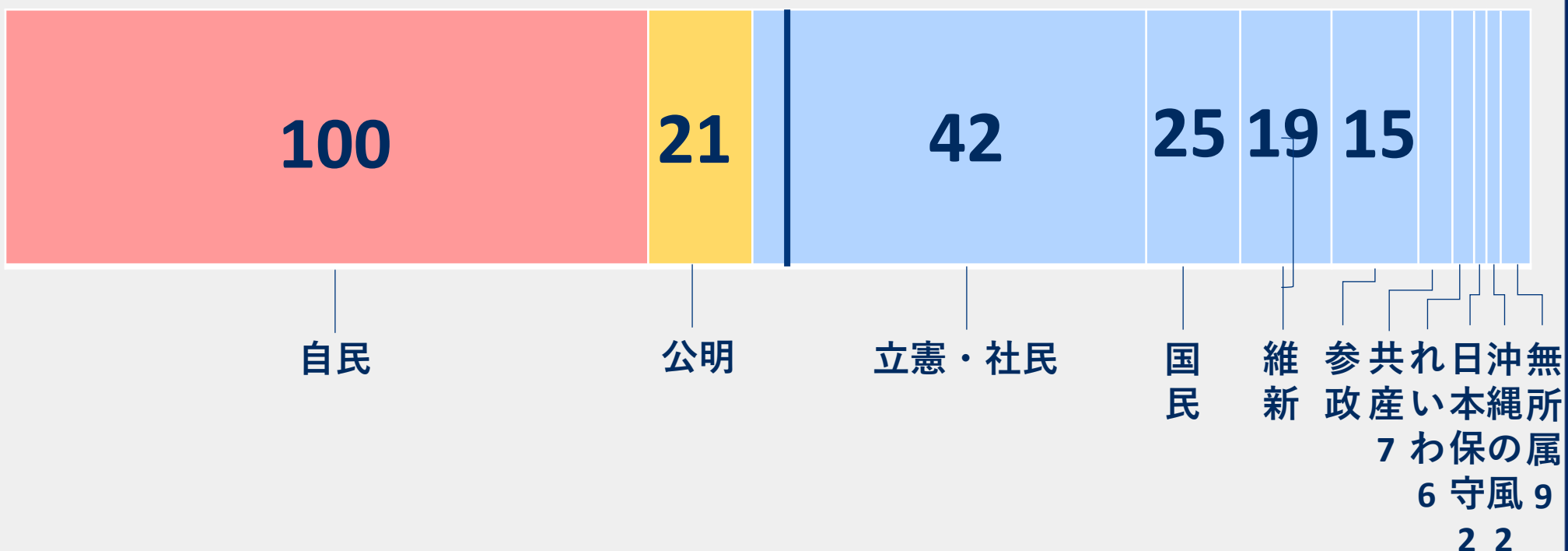
衆議院 465議席

過半数
233



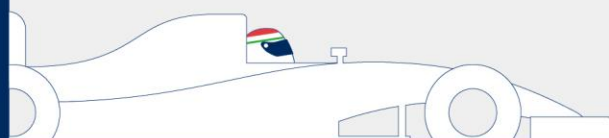
参議院 248議席

過半数
125



首班指名（内閣総理大臣の指名選挙）について （憲法第67条参照）

- 1: 衆議院、参議院双方別々に記名投票を行い、各院一名の指名者を決める（過半数の票を得た議員がその院の指名者になる。そのような議員がいなければ、上位2人による決選投票でその院の指名者を決める）。
- 2: 両院の指名者が一致していれば、その人物を内閣総理大臣に指名する。
- 3: 一致してなければ、両院協議会を開く。
- 4: 両院協議会で両院の意見が一致するか、もしくは出席協議委員の3分の2以上の多数を得た被指名者がでたらその人物を内閣総理大臣に指名する。
- 5: そうならなかった場合は、衆議院の優越により衆議院の指名者が内閣総理大臣になる。



出典：衆議院ウェブサイトから加工して作成
参議院ウェブサイトから加工して作成
http://www.diet.go.jp/kenrei/kyougi/kyougi.htm
http://www.sangiin.go.jp/kenrei/kyougi/kyougi.htm